

# “(是)…的”構文の意味特性と使用条件 — 動相助詞“了”を伴う構文との比較対照を通して<sup>1)</sup> —

董 雪 嬌

## Abstract

The "(shi)...de" construction and the "le" can be used to describe that have events occurred. In studies of the modern Chinese language, there is a statement that the "de" in the "(shi)...de" construction is developed from the "le". But there is a clear division between the "(shi)...de" construction and the "le". This paper mainly expounds the conditions of use of the "(shi)...de" construction and the "le" in the description of the places of events that have occurred.

キーワード…… “(是)…的” 構文 “了” 場所

## 1. はじめに

中国語研究において、“(是)…的”構文の“的”の用法は“了”から発展したと説明されることがある<sup>2)</sup>。中国語教育においては、“(是)…的”構文と“了”はどちらも実現した事柄を表し、例(1)(2)が示すように、日本語の「～した」にいずれも対応する。

(1) “你在哪儿念的大学？” “我没念过大学，我是通过自考考的研究生。”

(「君はどの大学で勉強しましたか？」「大学に入ったことはありません。独学で大学院に入学しました。」)

(2) 你在北京住了几年？住了三年。

(どのくらい北京で住みましたか？三年間住みました。)

“(是)…的”構文は、実現した動作に関する時間、場所などに焦点を当てる構文であり、“了”は動作の実現に焦点を当てることのできたこれまでの研究で明らかにされてきた(宋玉柱 1978；赵淑华 1979；杉村博文 1983；荒川清秀 1997；袁毓林 2003；木村英樹 2003；小野秀樹 2008)。実際、動作の実現ではなく、実現した動作に関する場所に焦点を当てる時、“(是)…的”構文と“了”のいずれを用いてもよい用例がある。例(3)(4)のように、実現した動作の場所に焦点を当てるとき、容認可能性相補分布を示している。

“(是)…的”構文の意味特性と使用条件 (董雪嬌)

(3) 这小鸟是从哪儿来 (的/\*了) ? (ccl) <sup>3)</sup>

(この鳥はどこから飛んできたのですか?)

(4) 你昨天晚上上哪儿去 (\*的/了) ? (王光全 2003:22)

(昨夜、あなたはどこへ行ったのですか?)

また、王光全(2003)は、動作文(動作句)において、語意から場所を表す語彙を、a 出所(来源)、b 動作の行った場所、c 行方あるいは存在する場所の三つのタイプに分類し、“(是)…的”構文と“了”の使用条件を分析した。しかし、次の(5)(6)のように、“(是)…的”構文と“了”の両方が用いられる用例があることも事実である。

(5) 他们都带你上哪儿玩 (的/了) ?<sup>4)</sup>(王光全 (2003) : 22 を参照)

(彼らに連れられてどこへ遊びに行ったのですか?)

(6) 不知打哪儿传出 (的/了) 这个消息。(ccl)

(どこからこの情報が伝わったかが分からない。)

本稿では、王光全(2003)の考察を踏まえ、動作動詞の方向性の観点から、場所が焦点化される場合の“(是)…的”構文と“了”を伴う構文の使用条件と意味特性を明らかにしていく。

“是…的”構文について検討する前に、“是…的”の形式を含む文を三つのタイプに分けて、本稿の研究対象を明らかにする。

## 2. “(是)…的”構文の分類

先行研究では、“(是)…的”構文に対する分類基準が異なるため、いくつかの分類の方法に分けられるが、その中には重複している部分もある。本稿では主に表現効果から、“是”と“的”を含む文を次のように三つのタイプに整理する。

### 2.1 “是” + “…的”

劉月華(2001)は、“是” + “…的”は“(是)…的”構文ではなく、目的語を“…的”とする“是”構文であると指摘した。呂叔湘(1980)も“是” + “…的”は“是”構文に属するとし、材料、所属、分類を表すと指摘している。このような文は、本稿の研究対象にしないが、“(是)…的”構文と区別するために検討する。

呂叔湘(1980)によると、材料を表す構造は“是” + 名詞 + “的”である。これは筆者が言語資料を調査した結果と一致している。

(7) 栅栏是木头的。(ccl)

(塀は木で作られた。)

(8) 你的首饰是黄金的吗？(ccl)

(あなたのアクセサリは金で作ったのですか？)

呂叔湘(1980)により、所属を表す構造は“是”＋名詞＋“的”である。言語資料を調査した結果、このほかにも、“是”＋人称代名詞＋“的”と“是”＋名詞フレーズ＋“的”構造がある。

(9) 我是山东的。(ccl)

(私は山東省出身の人です。)

(10) 我自己的音乐，肯定是我自己的。(ccl)

(私の音楽は私のものです。)

(11) 体育报是您家的？(ccl)

(体育新聞はあなたの家のですか。)

このタイプの文は、“是”と“的”を含む“(是)…的”構文とは認められないので、“是”を述語とする文とみなし、本稿の研究対象とはしない。

## 2.2 過去を表す“(是)…的”構文

“(是)…的”構文の存在を認める先行研究や外国語教育のための中国語文法書では、ある動作がすでに実現した上に、動作の行われた時間、場所、方式、目的などを取り立てて述べる文を“(是)…的”構文と呼んでいる。

先行研究では、“(是)…的”構文には強調の機能があることが指摘され、構文の強調成分により、文をいくつかに分けられている。本稿では、先行研究を検証しながら、言語資料を分析することで、“(是)…的”構文を次のように整理する。

(12) “学校是什么时候开的学？”“学校是九月十三号开的学。”

(「学校はいつ始まったのですか？」「九月十三日です。」)[時間]

(13) 他是从日本来的。

(彼は日本から来たのです。)[場所]

(14) 我是坐火车来的。

(私は汽車で来たのです。)[方式]

(15) 这件事，是谁干的？

(これは、誰がやったのですか。)[行為者]

“(是)…的” 構文の意味特性と使用条件 (董雪嬌)

(16) 我是为这件事来的。

(私はこのことのために来たのです。) [目的]

(12)-(16)の例文では、すでに行われた動作についての時間、場所、方式、行為者あるいは目的を説明する場合に使われる。例文を分析した結果、このタイプの“(是)…的”構文は動作の行われる条件を表す場合にも使われる。

(17) 沙哈拉威邻居看见我买下的东西是花了一千块弄来的。(ccl)

(隣人のサハラウェイは、私が千元のお金を費やしてこれを手に入れたのを見ていた。)

杉村博文(1999)は、一つのタイプの“(是)…的”構文を原因解説型と名づけた。本稿では、ある既存の事態に対して、この事態をもたらす原因は当事態が発生する前に起きたことである。したがって、杉村博文(1999)の原因解説型も過去を表す“(是)…的”構文に分類することにする。

(18) 餐车里人很多，挤来挤去，我们稀里糊涂吃完，撒了出来。几片红东西从外边打在车窗上，是西红柿，看来是前面谁把剩饭扔出来被风刮回来的。(杉村博文：1999)

(食堂車は人が多く、押し合いへし合いだったので、私たちはそそくさと食べ終わり、引き上げてきた。すると、いく切れかの赤なにかがそこから車窓にぶつかってきた。トマトだ。どうやら、前の席の誰かが残飯を窓の外に捨てたのが、風に吹き戻されてきたのだった。)

(19) 我这耳朵已有毛病了，…就这边是戴耳机戴的。(ccl)

(私のこちら側の耳はもう悪くなった。こちら側だけよくイヤホンをかけるからだ。)

例文(18)では、“剩饭扔出来被风刮回来(残飯が窓の外に捨てられ、風に吹き戻された)”は“几片红东西从外边打在车窗上(いく切れの赤い何かが外から車窓にぶつかってきた)”の原因であり、結果より先に発生したことである。本稿では、この事態をもたらした原因がすでに実現した動作である場合を、過去を表す“(是)…的”構文に属するものと考えることとする。

“(是)…的”構文の否定形は“是…的”の前に、否定詞を加える。

(20) 云里飞不是老死的。

(雲里飛は年をとったから死んだではない。)

(21) 这边的耳朵不是戴耳机戴的。

(こっち側の耳はイヤホンをかけたせいではない。)

例(20)(21)のように、過去を表す“是…的”文の否定形も本稿の研究対象に入る。

## 2.3 断定を表す“(是)…的”構文

断定を表す“是…的”を含む文について言及されている先行研究では、“是…的”という枠を取り外しても、文の成立に影響がなく、文の意味もあまり変わらないと述べている<sup>9)</sup>。

(22) 这个问题，我们也是很注意的。(劉月華《实用现代汉语语法》)

(その問題に関しては、我々も関心を抱いていますよ。)

(23) 他的想法是可以理解的。(同上)

(彼の考えは理解できますよ。)

断定を表す“是…的”構文は話し手の「…である」という認定の気持ちを述べるものである。それゆえに、断定を表す“是…的”構文の否定形式は否定詞が現れるのは“是…的”の枠内である。

(24) 他的做法是不妥当的。(劉月華《实用现代汉语语法》)

(彼のやり方は不適切だ。)

(25) 他们是绝对不会忘记过去的。(同上)

(彼らは絶対に過去のことを忘れないであろう。)

本稿は過去を表す“(是)…的”構文だけを研究対象にする。以下、過去を表す“(是)…的”構文を“(是)…的”構文と呼ぶことにする。

## 3. 中国語文法書における“(是)…的”構文についての記述

外国語人向けの中国語文法書では、“(是)…的”構文を一つの重要なポイントとし、初級から中級までのテキストで必ず一つの文法事項として説明している。各文法書における“(是)…的”構文についての記述は違うが、本構文が行われた動作の場所に焦点を当てるところが共通している。以下各文法書の記述を紹介しておく。

### 3.1. 荒川清秀(2003)『一步すすんだ中国語文法』

動作の実現より、動作の行われた時間、場所、方式、主体などにフォーカスがあるとき使う構文である。

(26) 你是什么时候来的？(荒川清秀 2003:139)

(あなたはいつ来たのですか。)

“(是)…的”構文の意味特性と使用条件 (董雪嬌)

“(是)…的”構文は、あくまで、時間、場所などにフォーカスを置く表現で、文中に時間や場所を表す言葉があっても、そこにフォーカスがなければ、“是…的”構文は使わない。

(27) 我爸爸昨天晚上从北京回来了。(荒川清秀 2003:140)

(父は昨晚北京から帰ってきた。)

例文(2)では、時間を表す昨晚と場所を表す北京があるが、“是…的”構文を使わず、“了”が使われている。荒川清秀(2003)は、これは、動作の実現にポイントがあるからであると指摘した。しかし、フォーカスが、動作の実現にあるか動作の行われた時間、場所にあるかにより、“是…的”構文と“了”の使用制限を有効に説明できない。

### 3.2. 相原茂他(2005)『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』

ある行為が発生したこと自体は明らかで、さらにその行為の行われた時間、場所、方式を具体的に強調して述べる“是…的”という構文がある。

(28) 他妹妹昨天来了。(相原茂他 2005:134)

(彼の妹は昨日やってきた。)

(29) 他给小王写了一封信。(同上)

(彼は王さんに一通の手紙を書いた。)

上の二つの文は「…が…した」ということを述べた文である。だから、「彼の妹がやってきた」、「彼は手紙を書いた」ことは明らかである。この上に、「どう」やってきたのか、「いつ」手紙を書いたのかを述べる時、“是…的”構文が使われる。

(30) 他妹妹是坐船来的。(相原茂他 2005:134)

(彼の妹は船で来た。)

(31) 他昨天晚上给小王写的信。(同上)

(彼は昨晚王さんに手紙を書いた。)

### 3.3. 瀬戸口律子(2006)『完全マスター中国語の文法』

すでに行われた動作について、その動作がどのようにして行われたか、行われた時間、場所、方法などを特に強調する場面で使う。“是”は強調しようとする部分の前に置き、“的”は文末に置くのが一般的である。

(32) 我是昨天晚上到的。(瀬戸口律子 2006:213)

(私は昨夜着いたのです。)

相原茂他(2005)、瀬戸口律子(2006)と荒川清秀(2003)は“是…的”構文は動作が行われた時間、場所などを強調する場合に用いられるところが共通している。相原茂他(2005)、瀬戸口律子(2006)は動相助詞“了”について言及していない。

### 3.4. 郭春貴(2006)『誤用から学ぶ中国語』

過去にしたことや現在も続いていることの時間、方法、場所などについて質問、あるいは説明するとき、必ず“是…的”の文型を使わなければならない。

(33) 你是怎么来的?(郭春貴 2006:114)

(君はどうやって来たのですか。)

郭春貴(2006)も、動作が実現し、それを新しい情報として相手に伝えるときに“了”を使うと説明する。そして、“是…的”はあくまでもその情報を受け、その動作を行った詳しい時間、方法、場所などについて質問、あるいは、説明するときに使うとする。

ほかの文法書では、行った動作、あるいは、過去において発生した動作であると説明されてきた。郭春貴はこの動作が過去に行った動作だけではなく、過去に行い、現在も継続している動作についてもこの“是…的”文を使わなければならないと指摘する。

(34) A: 他是怎么学习汉语的?你是怎么来的?(郭春貴 2006:115)

(彼はどうやって中国語を勉強しているのですか。)

B: 他是每天听电台的中文讲座学习的。

(彼は毎日ラジオの中国語講座を聞いて、勉強しているのです。)

以上各文法書において“(是)…的”構文についての記述を述べた。しかし、この記述は一部の事実しか反映してない。特に、行われた動作の場所について、“(是)…的”構文”と動相助詞“了”の使用条件を明らかにしていない。

## 4. “(是)…的”構文と“了”についての先行研究とその問題点

### 4.1 “(是)…的”構文と“了”

杉村博文(1982・1995)は、“先 le 後ろ de”説を提唱し、先行文脈“le”などの形式により、ある

“(是)…的”構文の意味特性と使用条件 (董雪嬌)

いは発話環境において、ある事件や事態の発生が確認された後で、再度その事件・事態に言及するとともに、“de”を用いることにより、その属性・状態を受けなおすという独自の見解を展開している<sup>9)</sup>。

相原茂(1996)は“(是)…的”構文が「…が…した」ことはお互いに承知しており、この承知している行為の時間、場所などを特に取り立てて述べる文であると説明した。

荒川清秀(2003)はフォーカスの位置に基づいて、“(是)…的”構文と“了”を比較した。荒川清秀(2003)は“了”は動作の実現に関心があり、“(是)…的”構文は動作のあり方に焦点があると説明している。

(35) 我爸爸昨天晚上从北京回来了。(荒川清秀 2003:140)

(私の父が昨夜、北京から帰ってきた。)

確かに、例文(35)は、「北京から帰ってきた」ことを新情報として伝えている。動作の実現にポイントがあると言っても構わない。しかし、フォーカスの位置に基づいて、“(是)…的”構文と“了”を区別するという説明には問題点がある。

それに、お互いに承知している行為に関する場所などを取り立てて述べる時、必ずしも“(是)…的”構文を用いるとは限らない。次の例文(36)を見てみよう。

(36) A：你昨天晚上哪儿去了？(王光全 2003:22)

(昨夜、あなたはどこに行ったのですか。)

\* 你昨天晚上哪儿去的？

B：我去朋友家了。

(友達の家に行ったのです。)

\* 我去朋友家的。

「昨夜出かけた」ということは話し手と聞き手がお互いに承知していることである。また、「出かける」ということは発生済みの行為である。相原(1996)によれば、“(是)…的”構文を用いることになるはずであるが、ここでは“了”を用いる文が自然である。

## 4.2 王光全(2003)及びその問題点

王光全(2003)では、場所の意味から“是…的”構文と“了”の使用制限を分析した。出所(来源)と動作行った場所を表すには、‘的 pp’ (pp—past perfect) しか使われない<sup>7)</sup>。行方あるいは存在する場所を表すには‘的 pp’ではなく、‘了’を用いると述べている。(表来源、动作发生的处所时，‘的 pp’ 是强制使用的。表去向或目前事物所在的处所时，不能用‘的 pp’，要用‘了’。)



- (37) 肖女士的长笛是在哪儿学的？（王光全 2003:22）  
（肖さんはフルートをどこで学んだのですか。）
- (38) 昨天晚上你去哪儿了？（同上）  
（昨夜、あなたはどこへ行ったのですか。）
- (39) 他们都带你上哪儿玩了？（同上）  
（どこにつれて遊びに行ったの。）

(37) の“哪儿”はフルートを学んだ場所を表し、(38) の“哪儿”は行方を表す場所を表す。王光全(2003)によれば、このように場所の意味の違いから“(是)…的”構文と“了”を用いている。しかし、同じ場所詞で、なぜ(37)では動作の行った場所を表し、(38)では行方を表すのだろうか。それに、なぜ(39)の“哪儿”は行方を表す場所と‘遊んだ場所’という動作の行った場所の両方の解釈が成立できるのだろうか。このように、場所の意味は前置詞(介詞)及び動作動詞との組み合わせにより異なるので、場所の意味から“(是)…的”構文と“了”の使用制限を説明するためには、まだ再検討の必要がある。

## 5. 本稿の分析

### 5.1 方向性による動詞の分類

王媛(2007)は、現代中国語の「動作動詞+方向補語」というフレーズにおいて、単音節動作動詞の方向性を分析した。王媛(2007)では、動作動詞自身が含む方向性と補語の方向性が一致かどうかによって、「動作動詞+方向補語」を「同向表現」、「異向表現」、「無向表現」と分けられた。また、王媛(2007)は、動作動詞自身が含む方向性によって、動作動詞が用いられる文型が違いと述べた。

王媛(2007)を参考にして、話し手または聞きがいる領域を中心に、動作動詞自身が含む方向は中心に近づくか、中心から遠ざかる移動方向によって、以下の動作動詞を三つのタイプに分類する。

タイプ A: 話し手領域、または聞き手領域へ近づく移動を表す動作動詞。例: 来, 拉, 收, 吸など。

タイプ B: 話し手または聞き手以外の領域から遠ざかる移動を表す動作動詞。例: 去, 推, 扔, 吹など。

タイプ C: 中心方向性移動がない動作動詞。例: 做, 干, 掉, 丢など。

### 5.2 各タイプの動詞と“(是)…的”構文及び“了”との共起関係

以下では、動作動詞の方向性から、上記の三つのタイプの動作動詞と“(是)…的”構文及び“了”との共起関係を考えてみる。

“(是)…的”構文の意味特性と使用条件 (董雪嬌)

### 5.2.1 タイプAの動詞との共起関係

話し手領域または聞き手領域へ近づく移動を表す動作動詞は“(是)…的”構文と共起するとき、場所はどこからからの「出所」を表すが、王光全(2003)は「出所」を表すとき、“(是)…的”構文しか用いられないとは限らない。まず、实例を見てみよう。

- (40) 这个消息也是在消息总汇的清风阁茶馆里得来{的/?了}。(矛盾《动摇》)  
(この情報もいろいろな情報が集まる清風茶店から聞いたの?)
- (41) 窗外传来一阵欢笑声。分明是从婚宴上传来{的/?了}。(刘心武《钟鼓楼》)  
(窓の外からどっと笑い声が伝わってきた。宴会場から伝わって来たにちがいない。)
- (42) 他们愤愤不平地说：打狗队是街道居委会也不知从哪儿拉来{的/?了}野汉子；打狗队收了狗转手一卖，得了钱去饭馆暴撮。(ccl)  
(彼らは不平満々に「犬を捕まえるグループは町の委員会がどこから集まった不良少年だ。彼らは捕まえた犬を売り、どこで食べに行く。」)
- (43) 在一次队列做操时，不知从哪儿飞来{的/?了}石子打在孩子的头上，痛得他抱着头蹲下了。(ccl)  
(体操をやっているとき、どこかから飛んできた石に頭を打たれて、痛くて頭を抱えてしゃがんだ。)
- (44) 在你之前有好几个人来采访我，不知他们从哪儿得到的消息，都被我婉言谢绝了。(ccl)  
(あなたが来る前にも何人か私をインタビューしに来たが、彼らがどこから情報を得たか分からないが、すべて私に断られた。)

動作動詞の“得”、“传”、“拉”は話し手領域、または聞き手領域へ近づく移動を表すタイプAに属する。タイプAに属する“来”と複合して、“得来”、“传来”、“拉来”も遠いところから話し手または聞き手に近づくという方向性を表す。(40)を例にして具体的に分析すると、“清风阁茶馆里”は“消息”の出所を修飾限定する。その“消息”は他のどこかではなく、“清风阁茶馆里”から来たことを説明する。例(41)も“婚宴上”は“一阵欢笑声”の出所を修飾限定する。(40)-(44)から、場所に焦点を当てる場合、タイプAの動作動詞は“(是)…的”構文としか共起できず、“了”とは共起できないことが確認できる。

- (45) 自我上了电视广告以后，我又被企业家们包围了，他们不知从哪儿搞来(了/\*的)我家的电话号码和地址，每天打电话来得人不断。(ccl)  
(私がテレビの広告に出てから、ビジネスマンに囲まれるようになった。彼らがどこから私の家の電話番号を手に入れたのかは分からないが、毎日電話してきた人がいる。)
- (46) “哦，丛碧兄，你从哪儿弄(了/\*的)一幅吴历的真家伙来？还没装池呢！”(ccl)  
(ああ、丛碧兄さん、どこから一枚の呉歴の本物の作品を入手したのですか？それにまだ表装されていない。)

(45)、(46)では、“哪儿”はともに出所を表すが“(是)…的”構文を用いることはできない。

木村英樹(2003)は、“的”構造における“的”の語意機能は動作行為に対する分類制限であるとして、“的”構造における“的”の分類制限機能は、構造助詞“的”の物事に対する分類制限から発展してきたと述べた。それゆえに、例文(45)では“我家的电话号码和地址”は唯一なもので、分類対象にはならないため、“(是)…的”構文を用いて修飾限定する必要がない。例文(46)では、どこから呉歴の本物の作品を入手したかを聞くというより、なかなか入手し難い呉歴の本物の作品を入手したことに対しての意外性の意味が強い。したがって、(46)は出所を修飾限定するのではなく、“(是)…的”構文は使われない。

### 5.2.2 タイプBの動詞との共起関係

話し手または聞き手以外の領域から遠ざかる移動を表す動作動詞はあまり“(是)…的”構文と共起できない。このタイプの動相助詞はよく動相助詞“了”と共起する。場所を表す語彙は動作動詞の後ろに置かれ、主語の「行方」を表す。

(47) 可是，当她迢迢千里地找了他们来，却扑了空。他们哪儿去(了/?的)呢？在这孤寂的古庙旁，她忍不住哭了。(杨沫《青春之歌》)

(それなのに、はるばるやって来てみれば、従兄夫婦はどこかに行ってしまった。いたい、どこへいったのだろう？この淋しい古廟のそばで、道静は思わず泣きだしてしまったのだ。)

(48) 城圈本不大，寻访了几个以为可以会见的旧同事，一个也不在，早不知散到哪里去(了/?的)。(鲁迅《在酒楼上》)

(さして広くない城内のこと、たぶん会えると思ってむかしの同僚数人を訪ねてみたが、誰一人おらず、とっくに行き方知れずになっていた。)

(49) 昨晚上你去哪儿(了?的)。

(昨夜、あなたはどこへ行ったのですか。)

(47) - (49)では、“去”、“散”はタイプBに属し、タイプBは話し手または聞き手の領域以外へ遠ざかる動作動詞である。場所を表す語彙とタイプBの動作動詞が共起する場合、行方を表す。例(47)(49)では、“哪儿去了(どこに行った)”、例(48)では、“散到哪儿去了(どこに散らばった)”は行方を表す<sup>8)</sup>。

タイプBの動作動詞は話し手または聞き手の領域以外へ遠ざかる移動を表すので、動作が行われた痕跡が残っていない。つまり、“(是)…的”構文を用いると、構文の修飾限定の対象が存在していない。例(47)をみると、“当她迢迢千里地找了他们来，却扑了空。他们哪儿去(了/?的)呢？(はるばるやって来てみれば、従兄夫婦はどこかに行ってしまった。)”。“従兄弟夫婦はどこに行く可能な場所が全然分からない状況で、彼らがどこかに行った結果として、家には誰もいない

“(是)…的”構文の意味特性と使用条件 (董雪嬌)

だけである。この一つだけの結果に対して、“(是)…的”構文を用いて、修飾限定する必要がない。したがって、“(是)…的”構文ではなく、“了”を用いる。

### 5.2.3 タイプCの動詞との共起関係

中心方向性移動がないタイプCの動作動詞は“(是)…的”構文と共起する場合もあれば、動相助詞“了”と共起する場合もある。しかし、“(是)…的”構文と共起する場合は場所詞は動作が行われた場所を表し、動相助詞“了”と共起する場合は場所詞は目的語の存在する場所を表す。

- (50) 这题目是我在家塾里做过的，当时下笔千言，一挥而就，… (冰心《关于女人》)  
(私塾で出題されたことがあったので、すらすらと書き上げた。…)
- (51) 因着T女士的关系，我对于算学真是心神贯注，竟有几个困难的习题，是在夜中苦想，梦里做出来的。(同上)  
(T先生に補習してくれたおかげで、私は精神を集中して夜中まで頭をひねるようになり、ついに夢の中で難問を解けてしまった。)
- (52) 走到跟前之后，看看车上，又看看垫在道上的土，随后问：“大泉，你这土是在哪儿挖的？(同上)  
(「高大泉のそばまでくると、大八車のなかをのぞき、道路にしきつめられた土のうえに目をはしらせてから言った。「大泉、おまえはこの土、どこで掘ってきたのか。」)
- (53) “前几年，我右边这只眼睛白内障，就是在你们医院做的，手术很不错。”(湛德容《人到中年》)  
(「数年前、私はこの左の眼が白内障になってあなたの医院にやってきました手術を受けましたが、大成功だったよ。」)
- (54) 这衣服哪儿买(的/\*了)？  
(この服はどこで買ったのですか。)
- (55) 肖女士的长笛在哪儿学(的/\*了)？(=(37)王光全 2003:22)  
(肖さんはフルートをどこで学んだのですか。)

(50) - (55) では、“做”、“挖”、“买”、“学”はタイプCに属する動作動詞である。場所を表す語彙はタイプCに属するこのような動作動詞と共起する場合、動作が行われた場所を表す。

- (56) 桥上没人，连岗警也不知躲在哪里去(了/?的)，有几盏电灯被雪花打的仿佛不住的眨眼。  
(老舍《骆驼祥子》)  
(橋にはひとりもいない。巡査までどこかへかくれてしまったようだ。街燈は降りしきる雪のなかで、まるで絶えまなしに、瞬いているようだ。)
- (57) 那两纸收条，我曾珍重的藏着，抗战起来以后不知丢在哪里(了/?的)。(冰心《关于女人》)  
(そのときの領収証をずっと大事にしていたが、日本と戦争が始まってから、どこかになくしてしまった。)

(58) 二婶, 你莫骂, 让二叔想想, 看是掉哪儿了, 去找找, 也许能找回来, 也不是没有可能嘛。(ccl)  
 (おばさん、まだ怒らないで、おじさんにどこで落としたかを思い出させて。探したら見つかるかもしれないよ。)

(59) 书包放哪儿(了/?的)。  
 (鞆はどこに置いたのですか。)

(56) - (59) では、“躲”、“丢”、“掉”、“放”はタイプ C に属する。タイプ C は中心方向性移動がなく、完了した動作が静止状態になる。場所を表す語彙がタイプ C の動作動詞と共起する場合は存在する場所を表す。(56) - (59) では、“躲在哪里”、“丢在哪里”、“掉哪儿了”、“放哪儿”のように、それぞれ物事の存在する場所を表す。例文(56)では、動作動詞“躲(隠れる)”と“去(行く)”が共起しているが、場所詞“哪儿(どこ)”は「警備員」存在する場所あるいは行方を表す。

同じタイプ C の動作動詞であるが、場所を表す語彙と共起する場合、語意により、“(是) …的”構文と“了”が使い分けられる。例(54)では、“这衣服哪儿买的?(この服はどこで買ったのですか?)”では、買った服は話し手の目の前にある。「服を買う」という動作は確実に行った。この「服を買った」動作に対して、修飾限定するため、“(是) …的”構文を用いられる。一方、例(59)では“书包放哪儿了?(鞆はどこに置いたのですか?)”では、鞆は今、目の前にない、または見つからない状況に対して、「どこかに置いた」という「動作行為」に関する「地点」という関与項を基準に区分的限定を加えない。または、その「鞆を置く」という動作行為の属性を修飾限定できない。

例文(60)では“了”と“(是) …的”構文がどちらも用いられるが、(60a)と(60b)のニュアンスが違う。

- (60) a. 他们都带你去哪儿玩了?  
 (彼らに連れられてどこに遊びに行ったのですか。)
- b. 他们都带你去哪儿玩的。  
 (彼らに連れられてどこに遊びに行ったのですか。)

“去”はタイプ B に属する。“玩”はタイプ C に属するが、持続する動作動詞である。例(60)において、場所疑問詞“哪儿”については二つの解釈がある。動詞「行く」と「遊ぶ」という動作が同時に存在しており、場所疑問詞“哪儿”は「行く場所」または「遊ぶ場所」に対する質問と理解できる。すなわち、「行方を表す場所」と「動作を行った場所」である。動作を行った場所が焦点化される場合に、“是…的”構文は用いられるが、“了”を伴う構文は用いられない。つまり、(60a)には

“(是)…的”構文の意味特性と使用条件 (董雪嬌)

「どこに遊びに行った」という「遊ぶ場所の範囲が全く分からない」という含意がある。一方、(60b)には遊びに行く前に、いくつか行きたい場所があるが、どれにするかが決まらない状況で、帰ってきたら「結局どこへ遊びに行ったの」という「大体遊ぶ場所の範囲が分かるが、具体的にどこで遊んだのか分からない」という含意がある。

## 6. まとめ

王光全(2003)は、場所の意味から“(是)…的”構文と“了”の使用条件を分析した。出所と動作が行われた場所を表すには、“(是)…的”構文しか使われない。行方あるいは存在する場所を表すには“了”を用いると述べている。

本稿では、王光全(2003)の考察を踏まえ、実現した動作に関する場所を焦点とする場合、“(是)…的”構文は話し手または聞き手への領域に近づく移動を表す動作動詞と共起する。“(是)…的”構文は物事の出所を確認する。“了”を伴う構文は話し手または聞き手の領域から遠ざかる方向性を表す動作動詞と共起する“了”を伴う構文は物事の行方を説明する。中心方向性移動がない動作動詞が、“(是)…的”構文と共起する場合には動作が行われた場所を確認するが、“了”を伴う構文と共起する場合には物事の存在する場所を説明する。

### <注>

- 1) 中国語学では“了”を“了1”と“了2”に分けて研究されるのが一般的である。“了1”は動作の実現を表すとされる(劉勛宇(1990))；“了2”は語気詞と態助詞の性質が重ねるとされる(劉勳宇(1990))。すなわち、“了1”と“了2”はどちらも、“(是)…的”構文の“的”と似ているところがある。それに、文中の位置について、“了1”と“了2”は動詞の後ろと文末に置かれる。“是…的”構文の“的”と文中の位置は同じである。以上の理由により、本稿で言及する“了”を“了1”と“了2”に分けず、“(是)…的”構文と比較対照する。
- 2) 詳しくは王光全(2003)を参照。
- 3) ccl:北京大学インターネットコーパス(ccl 語料庫検索系統網絡版)。また、本稿の用例記号の使用に関して、次のように規定しておく。「\*」は当該の文が文法的に不適格であることを表す。「?」は当該の文が、不適格とまでは言えないが、インフォーマントの直感によって不自然であると判断されたことを表す。
- 4) 王光全(2003)では、例文24の原文は“他们都带你上哪儿玩了”である。この例では、“哪儿”は行方を表す場所なので、王光全(2003)は“是…的”構文が用いられないと判断している。しかし、“哪儿”は行方を表す場所として、“是…的”構文を用いた“他们都带你上哪儿玩的”は言えかどうかに対して、筆者は30人の中国語ネイティブスピーカーにアンケート調査を取った結果、そのうち23人が言えると答えた。
- 5) 詳しくは呂必松(1982)を参照。
- 6) 杉村博文(1995)は、杉村博文(1982)で主張した「先le後ろde」説を、“了”と“的”/“得”の発音を意識したものであるが、“le”は決して“了”のみに対応するものではないと述べている。
- 7) 王光全(2003)では、‘的pp’ (pp—past perfect) というのは過去、完了形式を表す‘的’であるとしている。‘的pp’ = “(是)…的”構文と解釈した。
- 8) 例(48)全文の日本語訳は意識で“散到哪儿去了”を「とっくに行き方知れずになっていた」と翻訳しているが、ここでは文字通りに「どこに散らばった」に訳する。

## <引用文献> (アルファベット順)

- 荒川清秀 1997.「“是……的”構文?それとも“了”?」,『中国語』454号,26頁。
- 荒川清秀 2003.『一步すすんだ中国語文法』,大修館書店。
- 高橋彌守彦 2001.「“了”と“是……的”の關係について」,『大東文化大学紀要』<人文科学>37,235-257頁。
- 郭春貴 2006.『誤用から学ぶ中国語』,白帝社。
- 刘勛宁 1990.<现代汉语句尾“了”的语法意义及其与词尾“了”的联系>,《世界汉语教学》第2期总第12期,80-87頁。
- 吕必松 1982.<关于“是……的”结构的几个问题>,《语言教学与研究》第4期,21-37頁。
- 木村英树 2003.<“的”字句的句式语义及“的”字句的功能扩展>,《中国语文》第4期总第295期,303-314頁。
- 瀬戸口律子 2006.『完全マスター中国語の文法』,語研。
- 吕叔湘 1980.《现代汉语八百词》,商务印书馆。
- 刘月华·潘文娒·故 韡 2001.《实用现代汉语语法》,商务印书馆。
- 宋玉柱 1978.<关于“是……的”结构的分析--语法笔记一则>,《天津师院学报》第04期,75-76頁。
- 杉村博文 1982.「中国語における動詞の承前形式」,『日本語と中国語の対照研究』第6号,日本語と中国語対照研究会編,43-62頁。
- 杉村博文 1995.「中国語における動詞句・形容詞句の照応形式」,大東文化大学語学教育研究所『語学研究大会論集3』,51-66頁。
- 杉村博文 1999.「“的”字结构、承指与分类」,『汉语现状与历史的研究』,江蓝生、侯精一主编,中国社会科学出版社,47-66頁。
- 王光全 2003.<过去完成体标记‘的’在对话语体中的使用条件>,《语言研究》第23卷第4期,18-25頁。
- 王 媛 2007.《现代汉语单音节动词的方向性研究》,北京语言大学博士学位論文。
- 小野秀樹 2008.『統辞論における中国語名詞句の意味と機能』,白帝社。
- 相原茂·石田知子·戸沼市子 2005.『Why?にこたえるはじめての中国語野文法書』,同学社。
- 相原茂·片山博美·守屋宏則·平井和之訳 2000.『現代中国語文法総覧』,くろしお出版。
- 相原茂·石田知子·戸沼市子 1996.『中国語の文法書』,同学社。
- 袁毓林 2003.<从焦点理论看句尾“的”的句法语义功能>,《中国语文》第1期,3-15頁。
- 赵淑华 1979.<关于“是……的”句>,《语言教学与研究》第1期57-66頁。

## <例文出典>

- 《关于女人》,冰心著,复旦大学出版社,2006年。
- 《骆驼祥子》,老舍著,人民文学出版社,2008年。
- 《青春之歌》,杨沫著,人民文学出版社,2005年。

“(是)…的” 構文の意味特性と使用条件 (董雪嬌)

《人到中年》，湛德容著，花城出版社，2009年。

《在酒楼上》，鲁迅著，吉林大学出版社，2009年。

《矛盾小说精品》，矛盾著，作家出版社，2012年。

《钟鼓楼》，刘心武著，东方出版社，2006年。

※出典のない例は筆者の内省による作例である。

主指導教員 (朱繼征教授)、副指導教員 (大竹芳夫教授・土屋太祐准教授)